TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である あなたは、一体何者なのですか
ヤコブの手紙 4:11-12

2023年1月7日&8日
余沢 武 牧師

I. イントロダクション

➢ 新年あけましておめでとうございます。 皆さん、良いお正月休みを過ごされたかと思います。今日からまた、「ヤコブ」の学びに戻ります。 昨年、私たちが他人と対立するのは、次のような理由であることを学びました。

私たちは、自分が欲しいものを神に求めません。神の助けがなくても、それを手に入れることができると考えています。

私たちは、間違った動機を持っています。私たちは、神が望んでおられることを望んでいません。私たちは、自分の欲しいものを求めています。

私たちは、自分の欲しいものを得るために他人と戦うのではなく、神の欲しいものを得るために自分自身と戦う必要があることを学びました。それは、「神に向かって叫ぶこと」、そして「神に服従する」ことによって完了します。今日は、ヤコブがどのように「争い」の一種である「批判」に焦点を絞っているかを見てみましょう。まず、祈りましょう。

II. あなたは、一体何者なのですか。

(1) 互いに悪口を言ってはなりません。

➢ ヤコブ 4:11 に行きましょう。「11 きょうだいたち、互いに悪口を言ってはなりません。きょうだいの悪口を言ったり、きょうだいを裁いたりする者は、律法の悪口を言い、律法を裁くことになるのです。律法を裁くなら、あなたは律法を行う者ではなく、その裁き手です。」

「批判する」、すなわち、「面目を失わせる」という言葉は、「誰かに反論する」という意味の言葉で、ゴシップや中傷も含まれます。クリスチャンであっても、他のクリスチャンを含め、他の人を批判してしまうことがあるかもしれません。

➢ 私自身、特に若いクリスチャンの頃、誰かに向かって、このミニストリーはこうすべきだとか、あの人はこうすべきだとか、そういうことを言った記憶があります。

今思えば、私が反論していた人たちは、実は何も罪を犯していなかったのです。誰かが罪を犯していたとすれば、それは私でした。私は噂話をしていました。特に、私に仕え、神に仕えようとしている人たちに対して、私は批判的で、愛に欠けていました。

➢ でも、これは私たちにはあり得ることだと気づきました。
夫や妻は、掃除や洗濯など、他の人の行いが悪いと批判することがあります。聖書には、「夫よ、妻よ、部屋を掃除しなさい」「洗濯しなさい」とは書いてありません。聖書には、「夫よ、妻を愛しなさい」「妻よ、夫に従いなさい」と書かれています。

聖書には、「キリストに従うように、恐れおののきつつ、真心を込めて、肉による主人に従いなさい」(エフェソ6:5)とあるのに、私たちは気に入らないという理由で上司を批判することがあります。

私の例にあるように、私たちはミニストリーで奉仕している人やただ一緒に礼拝に来ている人を批判することがあります。 聖書には「互いに批判し合いなさい」とは書かれていませんが、「互いに愛し合いなさい」「互いに耐え忍びなさい」「互いに赦し合いなさい」(コロサイ3:13)と書かれています。

➢ 確かに聖書は、兄弟姉妹が破壊的な習慣的罪に陥っている場合、私たちは愛情をもってその人たちを助けなければならないと教えています。そして、教会は規律の場でもあります。
しかし、通常、私たちの批判は、それとは関係ありません。それよりも、自分を高く評価し、他人を低く評価する、自分が他人より優れていると考える私たちの「裁きの態度」の方がもっと問題です。私たちは、自分の配偶者、家族、同僚、ミニストリーリーダー、あるいは他のクリスチャンに対して、そのようなことをします。

(2) 律法を裁かないでください。

➢ 11 節をもう一度見ましょう。「きょうだいの悪口を言ったり、きょうだいを裁いたりする者は、律法の悪口を言い、律法を裁くことになるのです。律法を裁くなら、あなたは律法を行う者ではなく、その裁き手です。」

ですから、ヤコブによれば、私たちが他人を批判するとき、それは単に相手を裁いているのではなく、律法、つまり神の御言葉、聖書を批判し裁いていることになるのです。

イエスは、聖書全体は二つの命令にまとめることができるとおっしゃいました。

1. 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛せよ。私たちは、神を完全に信頼し、神に従うことになっています。

2. 隣人を自分のように愛せよ。私たちは、自分たちの周りの人々を愛することに集中することになっています。

私たちが誰かを批判している時、あるいは誰かについて噂話をしている時、私たちは、神を信頼し、神の御言葉に従い、他の人を愛しても、私たちが必要としているものは与えられないと言っているのです。神の御言葉を中断し、相手を愛することをやめ、批判やゴシップの方が必要だと思うのです。
そうするとき、私たちは神の御言葉を裁いています。私たちは、神の御言葉を非難しているのです。私たちは、神様の御言葉は十分でないと言っているのです。どうでしょう？ これが、罪の始まりです。

- エデンの園でアダムとエバは、園の真ん中にある木の実を食べてはいけない、さもなければ死ぬと言われました。それが「神の御言葉」です。
しかし、彼らは蛇であるサタンの言うことを聞いて、神の御言葉を一時中断することにしたのです。彼らが「神の御言葉」を判断し、それを公然と非難しました。そして、その実を食べました。そこから罪が始まりました。
私たちが自分の配偶者、家族、同僚、ミニストリーリーダー、仲間のクリスチャンを批判しているとき、私たちは神の御言葉に従うのではなく、神の御言葉を批判し、裁いていることになります。それだけではありません。神の御言葉は、神がどのような方であるかということについてのすべてなので、究極的には、私たちは神を裁いていることになるのです。

（3） 神のように振舞ってはいけません。

- ヤコブは続けます。12 節です。「[12] 律法を定め、裁く方はただひとりです。この方が、救うことも滅ぼすこともできるのです。隣人を裁くあなたは、一体何者なのですか。」

ヤコブは、神が唯一の律法の制定者であることを思い起こさせます。神は私たちに律法、つまり神の御言葉を与え、そこには神様の御性質が描かれています。そして、神は、私たちを試し、私たちを見ておられる唯一の審判者です。

私たちが神の性質を表わすことができないとき、それは罪と呼ばれ、滅びに値します。
なぜなら、神の造られたすべての良きものを破壊してしまうかもしれないからです。

しかし、神のすごいところは、神は「愛の神」だということです。

-私たちの罪のため身代わりになって十字架で死んでくださったのはイエスです
-私たちがそのイエスの十字架を私たちの罪の罰として謙虚に受け入れ、この方に　従うなら-私たちは救われ、「聖霊」を受けて、神の性質によって生きることを助けてくださるのです。

神は、救うことも滅ぼすこともできる律法の制定者です。

ヤコブは問いかけます。「あなたは隣人を裁くことができる人なのですか？ 神を信頼し、神の御言葉に従い、人を愛することに専念するのではなく、なぜ神の御言葉が適用されないかのように振る舞い、他の人を批判しているのですか？」

- 中学生の頃、私はある学校の寮に住んでいたのですが、そこはかなり「保守的な」学校でした。上級生が下級生、特に新入生に対して絶対的な権限を持っていました。

先生たちは、生徒たちに部屋の掃除をさせ、学習時間には勉強させ、朝6時半からラジオ体操に参加させようとしていました。

先生たちは全生徒にこれをやらせようとしていましたが、上級生は自分たちはやらないで、新入生には毎日やるように言っていました。そして、自分たちが規則制定者、警察官、裁判官、死刑執行人であるかのように自らを決めていました。

一方で自分たちはやろうとしません。しかし、1年生がやらなかったときは、上級生は彼らを呼び出して、めった打ちにして肉体的に懲らしめるのです。ありがたいことに、その後、先生方がこの慣習を気づき、「旧態依然」とした慣習は終わりました。

しかし、これは私たちがやっていることです。神は

私たち全員が従うように、つまり互いに愛し合うようにと、「御言葉」をくださいました。しかし、自分はそれに従うことから免除され、適用されないとし、自分たちを「律法制定者」、「警察官」、「裁判官」、そして「死刑執行人」と決めています。そして、他人の欠点を厳しく批判するのです。

- 私たちはしばしば、自分自身について間違った見方をしています。例を挙げましょう。もし、誰か他人の家に泥棒が入り、お金を全部盗んで、後で逮捕されたとしたら、私たちはどう感じるでしょうか？　「嬉しい！」と思うでしょうか？

  でも、もし自分たちの家に泥棒が入って、お金を全部取られて、泥棒が捕まったとしたらどうでしょう？　嬉しいでしょうか？　まだ、そうは思えないでしょう。「私のお金はどこにあるのか？」と問うでしょう。

  多くの場合、私たちは自分自身をこのように見ています。誰かが私たちの感情を傷つけたとき、あるいは私たちに迷惑をかけたとき、その人は悔い改めて神と正しい関係になったかもしれません。あるいは、実際、私たちを傷つけたとしても、聖書によれば、その人は罪を犯していないかもしれません。例えば、私をパーティーに招待しなかったというように。それは罪ではありません。でも、私は傷つきました。

  多くの場合、私たちの疑問は、「でも、私はどうなるのだろう？　私の傷や被った迷惑はどうなるのだろう？」です。私たちは、強盗に襲われた被害者のように、自分自身を被害者として見るのです。

  聖書によれば、それは間違った物の見方です。聖書によれば、私たちも神に対して罪を犯した泥棒です。私たちも神の赦しを請う必要があります。私たちは罪のない者でもなく、ましてや律法制定者や裁判官でもないのです。私たちもまた、裁かれる側なのです。

- キリスト教の慣習で、長い間、私を困惑させてきたものがあります。ある人が誰かに傷つけられ、恨みを持ち、赦そうとせず、無視していましたが、ついに赦すことを決めたとき、行って相手に「私はあなたを赦します」と言うことができるかもしれません。

  赦しを受け取った人は、多少戸惑いながらも、こう言うでしょう。「わかりました、ありがとうございます。」この赦しには何か欠けているものがあることに気づいていますか？

  最初の人は神の「御言葉」を守ることに自分は適用されないとしています。彼は自分の罪である「恨みを持ち続けること」や「人を赦さないこと」の罪を見ずに、裁かれる側ではなく、裁く側として行動しています。

  相手は罪を犯したかもしれないし、犯していないかもしれません。しかし、確実に言えることは、その人は神に対して、また相手に対して罪を犯したということです。その人は、悔い改めて、神に赦しを求め、相手の人にも赦しを請わなければなりません。そうすれば、その人も相手に赦したと伝えられるでしょう。

- これはヤコブが私たちに思い出させてくれていることです。 私たちは他人を批判するのをやめ、裁かれているのは自分自身であることを忘れてはいけません。律法制定者かつ裁判官はたった一人しかおられません。そして、神は、私たちが神を信頼し、神の御言葉に従い、互いに批判し合うのではなく、互いに愛し合うことを望んでおられるのです。

  「批判的な心」を持つ罪人である私たちのあり方は、「破滅」以外の何ものでもありません。しかし、神は愛に満ちた審判者であるため　私たちのところに来てくださいました。
  神はイエスとなってわたしたちのところへ来てくださいました。

  私たちの罪の罰を受けるためにです。

  私たちが神を信頼し、「御言葉」に従い、人を愛することができるように、聖霊を与えるために。

  他の人を批判するのではなく、主の前にへりくだれば、主は私たちを引き上げてくださいます。

  - もし他の人を批判してきたことがあるなら、イエスにあなたを赦し、あなたを助け、あなたを変えてくれるように頼んでください。
  - もしあなたを「救う」というイエスの申し出を受け入れていないなら、今日それを受けてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0223jp

★クラス 201
霊的成長について
1 月 22 日（日）13：00～17：00
参加条件
クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月 1 回～土曜日 16 時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後 19 時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月 1 回～土曜日 16 時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。英語力不要